

■数値目標

※網掛け部分は見直し箇所

施策No.	施策名	中心事業	事業名	見直し	数値目標		理由	担当課				
					指標名	目標値						
						令和4年度			令和6年度			
7	教育環境整備	①	市立小・中学校の校舎及び体育館の大規模修繕事業	見直し前	大規模修繕工事件数	9件	19件	公立小学校の学級編制の標準人数が段階的に35人に引き下げられることに伴い、普通教室の不足が見込まれる学校の増築工事等を行う必要性が生じたことから、学校施設長寿命化計画を一部延伸したため。	教育総務課			
				見直し後		8件	15件					
		②	市立小・中学校体育館照明のLED化推進事業	見直し前	体育館にLEDを整備した市立小・中学校数	小学校10校 中学校2校	小学校10校 中学校4校			市立第三中学校について、令和3年度に前倒して体育館照明LED化修繕を実施し、整備が完了したため。	教育総務課	
				見直し後			小学校10校 中学校5校					
11	国分寺の魅力	③	観光・シティプロモーションサイトを通じた情報発信事業	見直し前	シティプロモーションサイトのアクティブユーザー数	100件	200件	国分寺市観光協会の法人化を見据え、当該協会への運営委託を検討の上、時機を見て実施することとし、令和4年度の事業実施を見送ったため。	市政戦略室			
				見直し後		—	100件					
		④	観光動態調査事業	見直し前	観光動態調査実施件数	1回	1回			国分寺市観光協会の法人化を含めた自走化を見据え、当該協会への調査委託を検討の上、時機を見て実施することとし、令和4年度の事業実施を見送ったため。	市政戦略室	
				見直し後		—						
25	道路	③	道路・交通網計画策定事業	見直し前	(仮称)国分寺市道路・交通網計画の策定	計画の策定		道路の検討	道路・交通網計画について、令和3年度に前倒して策定することから、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」に基づき、国3・4・1号線の一部区間の計画内容の再検討も前倒して実施することとしたため。			まちづくり計画課
				見直し後		道路の検討						

■事業名及び事業内容

※網掛け部分は見直し箇所

施策No.	施策名	中心事業	見直し	事業名	事業内容	見直し理由	担当課
10	人権・男女平等・平和	①	見直し前	人権課題に係る啓発事業	人権のつどい、DV防止啓発講座、犯罪被害者等支援講座等を実施し、人権課題への啓発を行います。また、各種相談事業を通じて、個別課題に寄り添った支援を行います。加えて、人権課題に関する情報を市報・SNS・ホームページによる発信に加え、動画コンテンツを活用するなど、人権について考える機会を作ります。	コロナ禍においても、市民の学習機会の確保や適切な支援の実施に向け、各事業においてオンラインを活用していくこととしたため。	人権平和課
			見直し後		オンラインも活用しながら、人権のつどい、DV防止啓発講座、犯罪被害者等支援講座等を実施し、人権課題への啓発を行うとともに、各種相談事業等を通じて、個別課題に寄り添った支援を行います。あわせて、市報・SNS・ホームページによる情報発信、動画コンテンツの活用等を通じて、人権課題について考える機会を作ります。		
13	多文化共生	③	見直し前	国際化推進施策事業	市内で行われる国際理解・国際交流に関わるイベントや講座の開催に協力し、市内での国際交流において中心的な役割を担っている国分寺市国際協会への支援を行います。また、国分寺市多文化共生ボランティアの募集を継続し、必要な研修を実施します。	これまでスポーツ振興施策の一環として実施してきた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連する国際交流事業等について、今後は多文化共生社会の実現に向けた取組として実施していくこととしたため。	人権平和課
			見直し後	多文化共生推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて育んだ国際交流や国際理解に関する意識・気運を更に高めていくため、多文化共生ボランティア等の協力を得ながらイベントや講座を開催し、地域の中で日本人と外国人が共に活躍し、共に支え合える多文化共生社会の実現を目指します。		
		④	見直し前	姉妹都市等交流事業	姉妹都市・友好都市関連の物産展や薪能、ジュニアサマー等を継続するほか、都市間交流を更に推進するために、オンラインの活用を検討し、SNSなどの情報発信を強化します。また、市民や学校間等の国際姉妹都市交流に協力し、認知度を高めていきます。	令和5年にマリオン市との姉妹都市提携30周年を迎えることを受け、市としてイベント等の開催していくこととしたため。	人権平和課
見直し後	姉妹都市・友好都市関連の物産展や薪能、ジュニアサマー等を継続するほか、都市間交流を更に推進するために、オンラインの活用を検討し、SNSなどの情報発信を強化します。また、市民が国際姉妹都市への理解を深めることができるイベントを開催するほか、学校間等の国際姉妹都市交流を支援します。						